

(特非) ECOPLUS

持続可能な社会の形成に向けた、内外の多様な主体をつなぐ「場の教育」ネットワークの構築

イベントの延べ参加者数	166人
フェイスブック上のグループ参加人数	140人
活動の全体目標に対する達成度	30%



1日目大隈講堂小講堂での基調講演

◆成果と工夫したポイント

- 成果** 国際シンポジウムには、北海道や中国地方、八丈島などから実数で100人近い参加者があった。海外ゲストの講演だけでなく、分科会や交流会、昼食会議などを通じて参加者相互のネットワーク化を図ることができた。
- 工夫** シンポジウム本番のみならず、報告書の日英2カ国語での作成にエネルギーを注ぎ、海外との今後のネットワーク拡大を目指した。

課題

「地域」や「場」という言葉が、環境・野外教育や、観光、企業の社会貢献、地域おこしの視点からも多く語られているが、領域を越えた連携や共有はほとんどされていない。

活動内容

先端的な研究者や実践者からなる委員会を組織し、場の教育に関する事例を持ち寄って議論を深めた。世界的視野を持って場の教育を議論する国際シンポジウムを開催し、国内の関係者と議論を深め、ネットワーク作りを進めた。日英2カ国語で講演内容などを収録した報告書を作成、国内外約500カ所に配付した。要旨を示す普及版のパンフレットも作成配付した。フェイスブック上でのグループを作成し、情報共有を行った。



2日目の国際会議場でのパネル討論

今後の課題

ネットワークの規模の拡大と議論の深化。場の教育を拡大充実させるための具体的な「場」づくり。